

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	清瀬市立第7保育園
施設所在地	清瀬市竹丘1-15-11
法人名	清瀬市

1. 活動のテーマ

<テーマ>

食育

<テーマの設定理由>

第7保育園ではある日の献立にあった魚からどこに住んでいる？どんな形？などクイズを出したところ他の魚は？海かな川かなと広がりもっともっと知りたいとなったため「魚」をテーマとし、興味や関心を持てるようなプログラムを展開していくことにしました。

2. 活動スケジュール

スケジュール

ステップ1 献立から魚の種類を知ろう

1:カレイ 2:鮭 3:カジキマグロ 4:ちりめんじゃこ

ステップ2 魚以外に海にいるものは？

1:イカ 2:タコ 3:貝

ステップ1で知ったものの違いは？

⇒ 骨や目のつき方、炭を吐く、うろこの有無

ステップ3

わかめとひじき、のりはどうなってるの？

⇒どこにどうやってあるの？ 図鑑で調べたり、栄養士に聞いてみました。

ステップ4

魚ってどうやって捕るの？

⇒実際にワカサギを釣る様子を動画でみせてもらいました。

ステップ5

保育園で食べたことのない調理法を知ろう

⇒「ちゃんちゃん焼き」

栄養士より他の園で委託しているミールケアに相談をしたところ実践できるとの話があり進めました。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

園の活動で、魚の写真と実際に食べる切り身の写真を集めて掲示をしました。写真が見つけやすい素材を提供しました。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

献立の魚料理に興味を持ったことから魚の生態へと広がり鮭は川にいる時、海にいる時があることを絵本を見ていて熊が鮭を捕まえるシーンから鮭に興味が深まり、鮭の魅力から他の調理法はないのか調べ、栄養士に相談をし魚を捌く実践をしてくれることになりました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

給食のメニューで魚の日が好評。子どもたちにどんな魚が好きなのか？という問いに、魚の種類だけでなく「大きさ」「食べ物(餌)」「どこに住んでいるのか」等いろいろな声が上がった。そこから子どもたちで知りたいこと、やってみたいことが膨らみ、実際の鮭を捌いて食べることへの体験へとつながった。

「かっぱえびせん食べたんだ」「あの中にもえび入っているのかな」「えーえび？かっぱは」と子どもならではの脱線がありながら子ども同士で解決。「袋のうしろにエビ、かっぱって書いてあった？」「調べてみよう」と次の日までの子どもたちの宿題になっていったのに感心しました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもの声に耳を傾けると「魚」のクイズから大きく子どもたちの力で視野を広げることができるのだと実感しました。

大きな鮭を捌くところをみて「かうそう」とつぶやく子がいました。もう動かない鮭ではあるけれど「ちゃんちゃん焼き」実践するまでに得た情報で「命」ということを感じとっていたのだと知りこのことは他の場面や活動につなげていきたいと思いました。また、実践してくれたミールケアさんのお話から鮭とサーモンの違いを知ることができました。その後、クジラやイルカの話も子どもたちの口から出てきておりテーマの無限を感じていました。